

# 自然観察会だより

NO. 63

2015/11/28

西三河自然観察会

写真協力：竹内さん 進行感想：平松さん 報告：松山

## 「木の実・草の実・里山の恵みを、のんびり食べ歩き」

参加者 12 名 ☆

すいませ〜ん、朝寝坊して 40 分遅れで追いついたら、皆さん楽しく盛り盛り上がって、「居なくていいわよ」(´▽`) シャシャンボは熟せばブルーベリーですが、この色ではまだ酸っぱそう。カクレミノは、舌が喉が、しびれる一だって



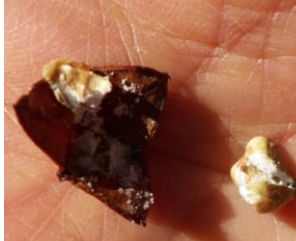
イヌマキは毎年人気の二色団子で、赤い部分が甘くて美味しいんだ。面白い解説が《コンペイトウの森通信 78》にあるので見てみて下さいね (為になる楽しい植物へ〜 無料配信お勧め)。フジのさやを割ると、真ん丸の可愛い実が沢山でてきて、中身の粉はどうか〜? エノコログサの実は、フライパンで炒るとポップコーンなるんだって、面白そー!



鳥になった気分で、アレチヌスビトハギ節果を割って、皮をむいてゴマ粒を味わってみると…いいじゃんピーナッツ味。センブリの花を逆さに振ると、1ミリ以下の超小さい実がいっぱいでできて、食べるとやっぱり超苦かったスゲー(;\_;) 小草池の土手に、アキノノゲシとハルノノゲシと一緒に咲いてて不思議な感じ。花はよく似てるけど、葉っぱは全然違って、アキノノゲシは花後に葉が巨大化して全く別の植物に変身。写真の葉、上が春、下が秋、ビックリポンでしょ!



シロノセンダングサはここでは初発見の驚き。南方の植物ですが温暖化の影響かな〜、今後の分布の広がり是要チェック。カラスウリはヌメヌメの果肉が甘々でOK。カラスザンショウの実は、残念高くて届かなかったけど、昔食べたら唇がピンピンにしびれたような? ミニトマトみたいで綺麗で美味しそうと言う人がいるので、ヒヨドリジョウゴを恐る恐る口に入れてみると、どまらずくて味が濃厚でケチャップに酢を入れたみたいな味で、こんなのヒヨドリが食べるとは思えな〜い



ヘクソカズラにチャレンジした人が、舌を刺す一だって、よくやるな〜。梅の木の下一面がきのこ畑で、馬場博士による写真鑑定でハタケシメジでは? との事。シャクチリソバは、昔は蕎麦にしたいくらいだからまあまあいける。シセントキワガキは、見た目も味も良し。クチナシの実食べる所が無くて、指が綺麗に染まった。いろいろ試して面白かったけど、**味見したらすぐに吐き出してね**

**食べた実・食べようとした実** イヌマキ植、ヒノキ植、センリョウ、エノコログサ、セイバンモロコシ、ナンテン植、シャクチリソバ植、ユミ、アレチヌスビトハギ、フジ、エノキ、カラスウリ、カラスザンショウ、ヒサカキ、シセントキワガキ植、マンリョウ、シャシャンボ、ヘクソカズラ、クチナシ、センブリ、ヒヨドリジョウゴ、アメリカイヌホトギス、ナンジヤモンジャ植、クマツヅラ、オギノツメ、アオハダ、クワネ子、カクレミノ、トバラ、サンシュユ植 **実 30 種**

**咲いてた花** イヌタデ、ヤマザクラ、ヤブツバキ、アメリカイヌホトギス、キツネノコ、ホトケナギ、オオノボコ、ヒメジョオン、スズカサミ、センダングサ、シロセンダングサ、ノコンク、アキノノゲシ、ハルノノゲシ、タンポポ **花 15 種**

**見つけた生きもの** モシロチョウ(アブラナ科)、モンキチョウ(マメ科)、キタキョウ(ハギ)、アカタテ(イラクサ科)、ダイショウセリ(ヤマノイモ科) **蝶 5 種**

**気付いた鳥** ヒトリカモ、マガモ、カガモ、ハシロカモ、オオカガモ、コガモ、カツブリ、カウ、トビ、ノスリ、カセミ、ハシロカラス、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ジョウビタビ、ハセキレイ、セグロキレイ、ホシロ **鳥 19 種**

次回の予定 12月26日(土) タカ・カモ・冬の小鳥、野鳥 40 種を探し歩き

沢山の種で、多くの鳥を見つけましょう!